

船舶事故調査報告書

平成22年3月4日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 横山 鐵 男（部会長）

委員 山 本 哲 也

委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年4月27日 22時40分ごろ船体が発見された。）
発生場所	不明（岡山県備前市裸岩 ^{ほだかいわ} 頭 ^{かしら} 島港東防波堤灯台から真方位306°900m付近（概位 北緯34°42.2′ 東経134°16.4′）で本船が発見された。）
事故調査の経過	平成21年7月15日、本事故の調査を担当する主管調査官（広島事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	モーターボート ひなせ、5トン未満 271-32546岡山、個人所有 9.10m (Lr) × 2.34m × 0.76m、FRP ディーゼル機関、253.75kW、不明
乗組員等に関する情報	船長 男性 74歳 一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士 免許登録日 昭和49年9月25日 免許証交付日 平成20年6月6日 (平成26年4月19日まで有効)
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	船底及び船側に破口を伴う損傷
事故の経過	本船は、船長が1人で乗船し、所用のため、平成21年4月27日18時ごろ、岡山県頭島漁港を出航して岡山県日生港に向かった。船長は、日生港での所用を終え、20時30分ごろ家族に帰宅すると連絡したのち、頭島漁港に向けて出港した。 本船は、通常、日生から頭島まで約15分間で航行していたが、帰宅が遅いのを心配した家族及び知人が船を出して捜索したところ、22時40分ごろ裸岩に乗り揚げている本船を発見した。船長は、操舵室内で、顎部からの出血を伴った意識不明の状態で見られ、病院に搬送されたが、死亡が確認された。死因は、外傷性ショック死と検案された。 なお、本船発見場所から北東方約200mの片上港第1号灯浮標（以下「灯浮標」という。）に損傷が生じており、灯浮標に付着していた塗料が本船のものであると鑑定され、本船の船首部に灯浮標と同色の緑色塗料が付着していた。また、本船発見時における本船の主機操縦レバーは、全速力前進の状態であった。

気象・海象	気象：天気 曇り、風向 北、風速 1.0～1.3m/s 海象：海上 平穏	
その他の事項	船長は、良好な健康状態であったが、日生港で分量は明らかでないものの、アルコール類を摂取していた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 死因は外傷性ショック死であった。 本船は、日生港から頭島漁港に向け航行中、灯浮標に衝突したのち裸岩に乗揚げた可能性があると考えられるが、灯浮標との衝突状況及び乗揚状況については明らかにすることができなかった。 船長は、灯浮標と衝突した際、又は裸岩に乗揚げた際に、外傷性ショックにより死亡した可能性があるものと考えられる。
原因	本事故は、本船が、日生港から頭島漁港に向け航行中、灯浮標に衝突したのち裸岩に乗り揚げたため、灯浮標に衝突又は裸岩に乗揚げた際に船長が衝撃を受けたことにより発生した可能性があると考えられる。	